

SSKS 風の子便り

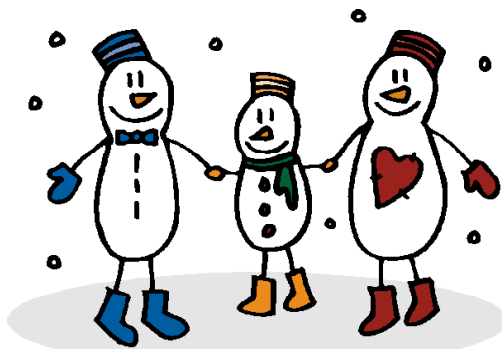
ひとりぼっちの障害者をなくそう

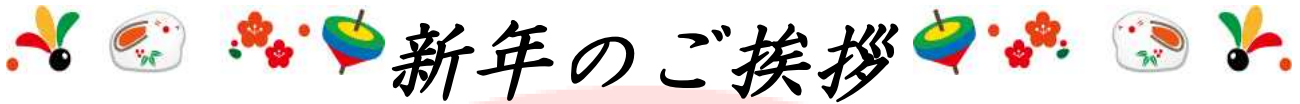


2016年
1、2月
合併号

目次

- ☆新年のあいさつ・・・・・・・・・・ 2
- ☆新年の抱負・・・・・・・・・・ 3
- ☆新年の抱負、年賀状のお礼・・・・ 4
- ☆花田正国会長受賞報告・・・・・・ 5
- ☆新メンバー紹介、虫めがね・・・・ 6
- ☆区長懇談会、夕会便り・・・・・・ 7
- ☆クラブ活動報告、
ボランティア募集・・・・・・ 8
- ☆冬季営業売上げ報告、クリスマス会
ライオンズクラブクリスマス会感想
・・・・・・ 9
- ☆高浜荘移転説明会報告・・・・・・ 10
- ☆高浜荘移転説明会報告・・・・・・ 11
- ☆活動報告、
僕と彼女と時々僕の家族（田中連載）
・・・・・・ 12
- ☆寄付のお礼、三木連載・・・・・・ 13
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）
・・・・・・ 14
- ☆年間スケジュール、
月間スケジュール・・・・・・ 15
- ☆編集後記・・・・・・・・・・ 16





新年のご挨拶

悠々と歩めよ今年亀年ぞ

そもそも大もとの発信源がどこなのか定かではないが、送られてきたり、行く先々で眼にするカレンダーの多くに、鎌首を掲げ、背中の甲羅を高々と盛り上げた親分風格の大亀が歩き回っているのだから驚く。おや、今年は亀年なのか、などと思ってしまう。

が、見ているうちに引き込まれて、お馴染み・お仲間のような気がして来た。そう、住宅のバリアフリー化が進まず、昼の生活で車椅子が使えないとなれば、私たちが四つん這いで動き回るしかないお仲間。でも、華麗な鶴よりも長寿で壮健、となればあやかりたくなる。風の子会にもそんな仲間はあるよね。

さて、風の子会は今、東京オリンピックのための都市整備計画によって、高浜実習所がカナルサイド高浜からの退去を求められ、代替りの場所も確保されていないという大ピンチを迎えている。どうするか。平成31年春にはカナルサイド高浜の取り壊しが始まるということで、もちろん、のんびりと構えているわけにはいかないのだが、そんなときこそ、じっくりと腰を据えて、亀のごとく着実に問題解決へ向かって進んで行くことも必要だろう。メンバー、家族、ボランティア、職員が知恵を出し合い、一丸となって何とか乗り切って行こう。

いつもご支援いただいている方々には心から感謝申し上げますとともに、本年もなお一層のお力添えをお願いいたします。

風の子会会長 花田正國



巻頭文



皆さんこんにちは、冬も真っ只中の今日寒い中お勤め、家事育児ご苦労様です。これからも日々の寒さに負けぬよう頑張ってください。わたしは冬でもライフに出掛けたり、映画を見に行きたいしています。

ライフは主に声優さん主催のライフに行き、映画はアニメ映画です。

その中でも「ハーモニー」というタイトルの映画がオススメです。未来世界が舞台のSFでとても面白いので、是非皆様一度ご覧になってください。

塚田愛基



岡本 裕介

新年の抱負
 今年はタバコを少し控えること（禁煙ではありませんよ）。そして皆からいじられ、そして愛される所長になりたいと思います。



僕の今年の抱負は、健康に気をつけて、新たな出会いを求めていきたいとします。今年もよろしくお願ひします。

田中 聡

移転問題、職員状況等考え合わせると現在の風の子はかない危機的状況にあるといえる。この状況をどのように打破できるのか、あるいは維持できるのかが当面の課題である。同時に自身の体力の衰えをどう維持できるのか、母を失った喪失感からの脱却をどう困っていくかも大きな課題となっている。よって夢見がちな抱負を語る余裕は今の僕にはない。

小野塚 航

今年の目標

先ず一年一年、少しでも元気に回復したい。

まずその繰り返しだ。

やはり喋りと体の動きは大事だ。パソコンも覚えたい。

僕の生活はそのように過ぎていく。

森 杉

1)パソコンとオペレートナビ(福祉用具)を活用してインターネットをしたい、ワープロや表計算等をやった来たが、今年は名刺やハガキ作り、写真の加工など様々な事したい!!

2)5年前に器用だった私の足が全然動かなくなり困っていたが、大分動く様になったので自分なりにリハビリをして、自分で腰掛けられる様足で立てる様身体を動かせる様に何とか頑張りたい!!

3)風の子会の行事になるべく多く参加したい。(外に出よう、旅行、区民まつりなど)

4)普段、送迎などで忙しい職員や役員、その他少人数でお酒を飲みに行きたい!!

幸 高史

新年の抱負

毎年同じですが、人に喜ばれる・頼られる・人に尽くす事を、一つでも多くしていきたい年です。

今年も仕事を頑張る。

福島 基予子

企画の仕事を頑張る。

田村 亮彦

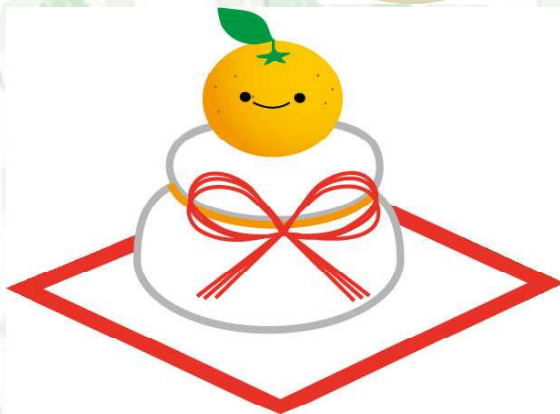
松本 恵司

来年の抱負はパソコンのあらゆる機能を覚え、私生活でも風の子でも活かせるようにしたいです。

塚田 愛基

苦手なことが多々あるため、それらを克服することと、人に優しく笑顔の絶えない一年にしたいと思っています。

石森 翠



新年の抱負②

新年もよろしくお祈いします。

和栗 顕太郎

今年も健康に気をつけて笑顔
いっぱい過ごしたい。

青木 和代

はがき以外の内職もや
りたいです。

朝生 孝之

内職を頑張る。

矢島 邦章

健康第一、人の言うこと
を素直に聞く。

掛橋 竜也

2016年、明けましておめでとう
ございます。本年も、昨年同様風
の子会をよろしくお祈いします。今年
の抱負は、例年同様健康第一・少し
でも長生き出来るよう予防医学＝（無
病息災）に努めたい所存です。

息子と風の子の若い衆と、
皆で力を合わせて頑張って
いきたい。

松本 成子

謹賀新年あけましておめ
でとうございます。本年も
よろしくお祈いいたしま
す。これからも一生懸命
頑張ります。

齊藤 臣一

牛乳パックの切る作業が
やりたい。

野田 広一

進歩が感じられる成果を
求め、具体的に意識して臨
む。

山名 宗孝

今年も健康で頑張る。

小野田 浩

あんことケーキをお腹
一杯食べたいな。
あんことケーキは大好
きなんだ。

飯尾 直美

自分の新年の抱負は、第一にさぼらない
事。自分は私生活において、何かとさぼっ
てしまっているのであらゆる事に、全力で取
り組みたいと思っております。

第二に時間を守る事。自分は恥ずかし
ながら、時間にルーズな所があるので、そ
れを改善したいと思っております。以上が
私の新年の抱負です。

三木 直人

秋葉 博

はすの実作業所様・とちの実作業所様、森部清様、すばる介護センター様、
港区立障害保健福祉センター様、西麻布作業所様、株式会社みどりのまきば
企画様、株式会社ユニオンサービス様、みなと工房様、みなと障がい者福祉
事業団様、穴倉自動車株式会社様、品川区社会福祉協議会様
NPO法人ウルトラの国様、共栄火災様、社会福祉法人家庭授産奨励会様。

今年も名前は団体様だけの掲載とさせていただきます。

本年も宜しくお祈い致します。

Thank you



年賀状のお礼

花田会長 「小倉昌男賞・特別賞」おめでとうございます。

花田正国会長が昨年12月に、第16回「ヤマト福祉財団 小倉昌男賞・特別賞」を受賞されました。この賞は「障がい者の仕事づくりや雇用の創出、拡大、労働条件の改善などを積極的に推し進め、障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている人の中から、毎年2名の方に贈られる」ものとされ、今年は2名に加えて、花田会長に「特別賞」が贈呈されました。

花田会長は、重度の障害をのり越え、国際障害者年日本推進協議会副代表、総理府障害者対策推進本部参与、その他多くの役職を歴任、さまざまな障害者問題に取り組み、日本の障害者対策の向上に努めてこられたこと、歴史作家として『殿上の杖 明石検校の生涯』、『日本の障害者・今は昔』などで歴史上の障害者がいかに日本の文化に大きな功績を残してきたかを明らかにし、また俳人として「俳人協会全国大会賞」ほか各種の賞を受賞されるなど多くのすぐれた作品を発表してこられたことが授賞理由です。推薦者の日本障害者リハビリテーション協会会長の炭谷 茂理事長は「これまでも内閣総理大臣賞をはじめ沢山の賞を受けられ、すでに社会的に高く評価されているところ



ですが、花田春兆さんの生涯にわたる活動は、障害者の社会参加促進や地位向上を願われた小倉昌男さんの御意志に完全に沿うものであり、障害者に希望を与えるものと考え、小倉昌男特別賞に推薦します。」と述べられています。授賞式では、「特定非営利活動法人 日本障害者協議会顧問」「公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会評議員」「特定非営利活動法人 風の子会会長」として紹介されました。

ました。

花田会長は毎年の小倉昌男賞授賞式で、受賞者の方にその受賞理由にちなんだ俳句を贈られてきました。今回はご自身も受賞されるということで、「自祝」俳句をいくつか披露されました。そのうちの二句をご紹介します。

生きて来し卒寿の幸を噛みしめよ
冬灯も燦今宵は祝盃受ける身ぞ

この句にもあるように、大正5年生まれの花田会長は昨年90歳、卒寿を迎えられました。重ねて心よりお祝い申し上げます。そして、これからもお元気で、障害のある人や風の子会のためにお力添えをいただけますよう、お願いいたします。

風の子会副会長 岡本 明



新メンバー紹介

森 杉と申します。歳は1956年6月30日生まれ59歳です。

趣味は映画鑑賞で、好きなジャンルはホラー映画でも特にドラキュラ系が好きです。その他、古いヤクザ映画で仁義なき戦いや竜二、仁義の墓場なども好きです。

あと音楽を聞くのが好きです。世代的には吉田拓郎の御伽草子や落陽、人生を語らずを聞きます。嫌いな食べ物ほとんどありません。でも青魚だけ苦手です。

皆様、よろしくお願ひします。

ようこそ
風の子へ！

虫めがね～欲しい兄弟・姉妹

僕の欲しい兄弟・姉妹は、スバリ「お姉ちゃん」です。理想としては、優しく・綺麗で・甘えさせてくれるそんな姉が理想です。

もしお姉ちゃんが居たら一緒に食事したり、お酒を飲んだり、温泉旅行に行ったりしたかったな：

松本 恵司



妹の選択になります。どちらかといえますと妹が欲しいです。

今回のテーマは、「欲しい兄弟・姉妹」ということですが、私にはすでに姉・兄がいます。ですから弟・弟だとやれ「サッカー」だの野球だの「さとうるさい」けど、妹だと何かしら買ってあげれば済むからです。

三木 直人



私は四人兄妹の二人目で、兄と妹が二人いました。が、この間（一月十日）に兄が亡くなったので、三姉妹だけになりました。遊ぶことが大好きな兄は学校から帰るとランドセルを部屋に放り出して遊びに行ってしまう兄でした。机を買って貰ったのにその前に座っている姿など見た覚えがないくらいです。でも頭は良かったらしくて学校は都立の高校へ進みました。そして卒業後は父と同じ会社に入り（同族会社）約五十年働いてきたのです。まさかこんな形でお別れするとは思ひもしませんでした。長患いをされて、老いていく兄を見るよりもこれで良かったんだと思えます。お父さんとお母さんとお祖父ちゃんと天国でゆっくり話をしてくださいね。

太田 圭子

～区長懇談会について～

昨年11月6日(金)午前10時～正午まで、港区役所にて区長懇談会が行われました。風の子の代表としてメンバーの三木さん、職員の岡本さん、ボランティア(父兄代表)田中(あ)、メンバー田中(聡)の4名が参加をしました。今回風の子会を出した原案は「カナルサイド高浜を取り壊して風の子会移転!!」についてでした。なぜカナルサイド高浜を取り壊すかということ、都市開発に伴い、東京オリンピック・パラリンピックにより、品川一田町の間に新駅舎を完成させ道路を広げるため、カナルサイド高浜は取り壊されるそうです。そのため、風の子会は移転をしなければならなくなりました。区役所からの回答は「風の子会が、さらに法人としての経営能力を強化するように促していくとともに、高浜荘解体後についても、サービスを継続して提供することができるよう、必要な支援策を検討してまいります」との解答でした。それを聞いていた僕の母は「風の子独自で探すのは、財政的に無理なので探して下さい」と言い、僕も「風の子会を助けて下さい、お願いします」と言いました。最後に港区長から「日頃の会として、頑張りや功績などを認めてくれ、会を困らせず港区として努力する」と言ってくれました。今回区長懇談会に参加をして、少し成果が得られたのではないかと思います。

田中 聡

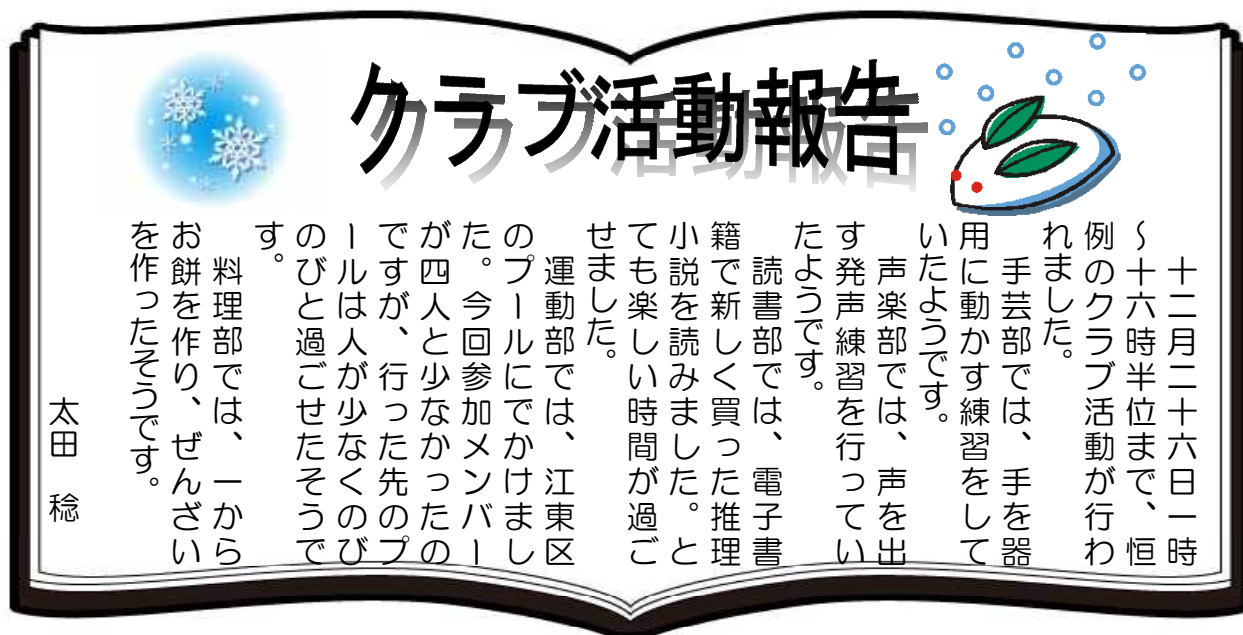
～夕会便り～

11月1週目の夕会では、まず赤い羽根共同募金について話し合われた。いろいろ案が出たが、介護用リフトを購入しようということでもとまった。次に、今後の外に出ようのあり方について話し合った。これからは風の子が主体でやっていくこと、全体集会は行わないこと等が決まった。次に区長懇談会に出席したことについての報告がなされた。今回は高浜移転について区に訴えることに重きを置いた。

2週目の夕会では、高浜移転に伴いメンバーにとっての風の子とは何なのだろうという問いかけが出たので、一人一人に答えを聞く時間とした。「みんないるから楽しい、好き」「職員が職員らしくないから好き」「自由に伴う責任に対して、意識の低い人が多い」「学習会が無くなって、工房と企画がバラバラになってしまった」「わからない」等の答えが挙がった。今後移転問題に取り組むにあたり、風の子自身が意識を高めていく必要があり、こういった話し合いの場は定期的に設けていく必要があると思われる。

12月の夕会は3週目の1回のみ。2月に行われる料理教室で何を作るか話し合った。北京ダック・ぎょうざ・肉じゃが・とろろ・カレイの煮付け・グラタン・ワンタン・酢豚・トッポギ・おでん・天丼等が出たが、すき焼き・ぎょうざ・三色丼の3品を作ることになった。どんなごちそうができるか今から楽しみである。次に2016年の風の子の年間行事の大まかな日程を決めた。暑気払いやクリスマス会、イチゴ狩りやプールなど、今年も恒例行事は例年通り行われるだろう(詳しい年間スケジュールは15ページに掲載されています)。

小野塚 航



☆クラブ活動ボランティア募集☆

風の子会では、毎月最終土曜日にクラブ活動を行っています。

運動部、料理部、手芸部、読書部などメンバーそれぞれがやりたい活動をしています。

そこで一緒に活動に参加してくれるボランティアさんを募集します。

メンバーと一緒にクラブ活動に参加してみませんか？

詳細は風の子会までお問い合わせください。

次回のクラブ活動は2月27日（土）13時から（仮）です！

皆様のご参加お待ちしております！

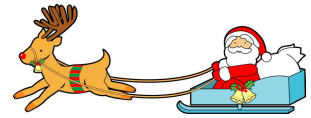
風の子会メンバー一同

TEL：03-3474-9674





クリスマス会感想



初めて風の子会のクリスマス会に参加させて頂きました。ボランティアの知人の方が手品をして下さり、みんなでわくわくしながら見ていました。ロシアンルーレットをしました。私は当てる側ではなかったので試しに少し飲ませてもらいました。とても強烈な味がして、よく作ったものだと関心してしまいました。ビンゴも盛り上がり、楽しい時間となりました。皆様のお陰で無事にクリスマス会を終えることができました。ありがとうございました。

石森 翠

今回初めてクリスマス会の実行委員会をやらせて頂きました。

出し物としては、マジックショー・クイズやロシアンルーレット・ビンゴなどを行いました。マジックショーは勿論、イントロクイズが一番白熱した盛り上がりを見せ、定番のビンゴも盛り上がり、大成功をおさめました。参加して下さった皆様本当にありがとうございました。

秋葉 博



ライオンズクラブクリスマス会感想

昨年の12月20日(日)表参道の青学会館＝IVホールで、恒例の東京神宮ライオンズのクリスマス会がありました。当日は5名招待を受けて行く予定でしたが、残念ながら1名が風邪で寝込んでしまったため他の3名も慎重をきして行くのを断念しました。折角のライオンズ様からのご招待なので私三木1名で参加させて頂きました。

なので当日の挨拶は、他の方にしてもらっていたのですが、私1名だったので代表して軽く挨拶させて頂き更にライオンズ様からお土産を頂戴しました。

私個人ですが、お楽しみ抽選会で手首式血圧計・クッキーが当たりとても楽しいクリスマス会を過ごさせていただきました。東京神宮ライオンズ様毎年ご招待頂きありがとうございます。最後に一言、言わせて下さい『毎年このクリスマス会を楽しみにしています。』

三木 直人



冬季営業企画商品注文売上報告



●売り上げ数

第一位・・・八本

ザ・トイレカレンダー

第二位・・・七本

となりのトトロカレンダー

第三位・・・六本

壁掛版「はたらく仲間のうた」カレンダー

家族み～んなの書き込みカレンダー

⑨

●総売上数・・・九十三個

●総売上金額・・・十三万九百八十円

お買い上げありがとうございました！

ひとりぼっちの障害者をなくそう！

港区の道路計画についての区役所の説明会報告

カナルサイド高浜が取り壊され、風の子会が退去しなければならないことについて、区役所の担当関係部署の課長、係長に高浜実習所へおいで頂き、説明会を開催しました。



- 日時：2016年1月12日(火)13:00~14:30
- 於：カナルサイド高浜3階会議室
- 参加者：区役所 保健福祉支援部障害者福祉課長、同・障害者福祉係長、街づくり支援部開発指導課長、同・街づくり担当係長
風の子会 メンバー、家族、ボランティア、役員、職員 34名

■要旨：

- ・障害者福祉課長(以下福祉課長)

オリンピック・パラリンピックに向けて道路整備をしていくに当たり、どうしても建物にかかってしまうので取り壊しはやむを得ないと区では昨年7月に判断した。風の子会には事業運営に影響が少なくなるように出来る限りの支援をする。

カナルサイド高浜は特別区人事厚生事務組合(23区の共同団体)が所有し、港区がその一部を借りて風の子会に提供をしている。いずれは建て替えることになっているが、その利用については港区だけで決めることは出来ない。

歴史もあり地域に貢献している風の子会の活動がここで終わることは、区長をはじめ港区は考えていない。しかし港区の他の福祉団体も区民にも納得してもらえる支援にする必要がある。

風の子会への説明は今日のような場を何度も作って進めていきたい。

・開発指導課長(以下、開発課長)

2020年の新駅暫定開業に向け、道路を整備せねばならない。現在は都市計画の手続きを済ませたところである。都市計画は地区の将来図を定めるもので、地区の公共整備など建築物の制限を定める段階のものである。次の事業認可の段階で、具体的な事業の内容、スケジュール、補償等の検討がスタートする。

高浜荘の前のトンネルは一方通行で狭く、雨が降れば浸水するので再整備の必要があるが、新幹線の下に限られたところを抜く道路を作るため、建物を移転しないとイケない。安全な道路を作るために建物を建て替えることについてはご理解頂き、今後具体的にどうしていくかについて区と協議して頂きたい。

・風の子会

建て替えたあと、フレンドホームは残るそうだが、なぜ風の子会のスペースを作って頂けないのか。

・福祉課長

将来的には区域内に建て直しになる。今のフレンドホームの部分は港区の所有なので、港区の予算で作り、フレンドホームを入れる。しかし特別区がお金を出すところに風の子のスペースを改めて確保するのは厳しい。

港区がお金を出して建物を造るというのは、現段階では何とも言えないが、支援策の一つとして検討しないといけないと思っている。

今年の区長懇談会でも、区長から出来る限り支援をしていくとの話があり、障害者福祉課をはじめ職員に対しての指示でもあると受け止めている。

・風の子会

計画を決めた後に話を持ってくるのは話の順番が逆ではないか。何故ここを取り壊してまで道路を作らないとイケないのか、全く説明がない。この具体的な計画は都と区とどちらが進めているのか。

・開発課長

平成22年より区の方で再整備をしていこうと検討してきた。道路法に基づき安全な道路を作らないとイケないが、結論として計画の道路がカナルサイド高浜に当たってしまうので、移転をふまえて道路を整備する。

地区の将来像、公共施設の配置、建物の制限、都市計画は都が担う。公園や道路の整備については区が担う。

(続く)

（続き）

・福祉課長

移転に関わるこのような場合、地権者が店子に説明をする。この場合地権者は港区で、店子が風の子会になるので、港区が説明をする。その説明役を障害者福祉課が担っている。

・風の子会

風の子は他の区からも利用されているから、そういう話をしていけば特別区の理解が得られるのではないかな。

・福祉課長

事務レベルでその話をしたことはあるが、23区の方々がかかり多いというわけではないので、感触としては難しかった。これから挙げていく案の中の一つに入れる。

・風の子会員

風の子は現状の活動を維持していきたいだけで、それ以上のことを要求しているわけではない。現在風の子がここに入れさせて頂いていることについて他の施設からなにか苦情が来ているとも聞いていない。

・福祉課長

現状、どこかの団体がご不満を言われているわけではない。風の子会しかできない役割があって、歴史もあってこれからも期待される役割もあるなかで、実績や他の団体との違いを誰が聞いても分かるようにしていくこと



によって支援のやり方が開けていくのではないかなと思う。

・風の子会

カナルサイドで曲げないでまっすぐな道は出来ないのか？

・開発課長

まっすぐ来ると道路に出られないので出来ない。

・風の子会

例えば下水管を下げればいいのか、高架が何故出来ないのかなど、何故こうしないといけないのかということが納得いかない。どういう検討がされてきたのか。

・開発課長

区としては費用を出来る限り少なくするという点から種々検討してきた。下水道局の方に何度も下水管を下げられないのか確認したが、下げてしまうと勾配が届かないという制約があるということだった。高架はJRの終電過ぎでの工事となって時間やお金もかかる。検討の結果、カナルサイドを一時移転してもらって、一番効率的で安全でかつ利用しやすいという道路を作ることを決断した。

・風の子会

具体的にいつ取り壊すのか、代わりの場所が他に無いのか。

・開発課長

平成31年3月末までに移転してもらって、移転が終わり次第、取り壊す予定。

・福祉課長

学校の空き教室などはすでに別の利用計画がある。区の他の施設の中ではこれだけの空きスペースは今のところない。平成31年3月という範囲の中でどういう空きが出てくるのか探していく。

駐車場4台分のスペースや送り迎えの場所などいろいろ条件がある中で、完璧な物はなくても工夫して頂いて絞り込んでいくことになる。これは皆さんと相談しながら、充分ご意見を聞かせて頂きながらやっていきたい。

・風の子会

家賃がかかる民間のアパートだと、風の子は財政的に無理。職員を減らしたりメンバーも減らしたりすると風の子が成り立たなくなる。それが毎日毎日不安でならない。明るい陽射しを私たちに少しでも投げかけてもらいたい。

・福祉課長

今日の段階で結論を申し上げることが出来ず、申し訳ないと思っている。今後も話し合いを続けさせてもらい、スピード感を持って対応をしたい。風の子会の活動が続くように、私どもも考えるし、皆で協力をして区民の理解を得ていく必要があり、お互い意見を出し合って良い形にしていきたいと思っている。

（文責 岡本 明）

活動報告

11月18日(水)学習会

今回は二つの行事が重なった為、二つの班に分かれて活動を行いました。

①日本社会事業大学(場所は清瀬市)へ学食利用しました。

キャブ3台で行ったので、道路が混んでいて予定時刻より1時間半も遅れて目的地へ着きました。それでも「カツカレー」を用意して待っていてくれました。有難う!

②重度肢体障害者の方向け「タブレット(iPad)活用術、講演会」に参加しました。手足が不自由で動かす事が出来ない方がタブレット等を使うための講演会で、最新のタブレットの設定を変えるとアイコンが順番に選択され、タイミングを合わせて画面のどこでも触れれば操作が出来ると言うものだそうです。

12月1日(火)新メンバーの森 杉さんが入会し風企画に所属しました。

12月5日(土)障害者週間

港区浜松町のヒューマンぷらざにて、風の子会の商品を販売しました。

12月7日(月)朝会で職員の一人在職が体調不良で3月までお休みと発表されました。「一瞬!寂しくなるあ!早く良くなって風の子会に出て来て下さいね!お大事に!」しかし休職期間中人手不足で大変なので、もう1人誰かアルバイト職員を見つける事になりました。

12月12日(土)風の子会のクリスマス会が高浜実習所にて行われました。

クイズやゲーム、マジックショーを楽しみました。

12月16日(水)高浜荘のクリスマス会が行われ、希望者が参加しました。

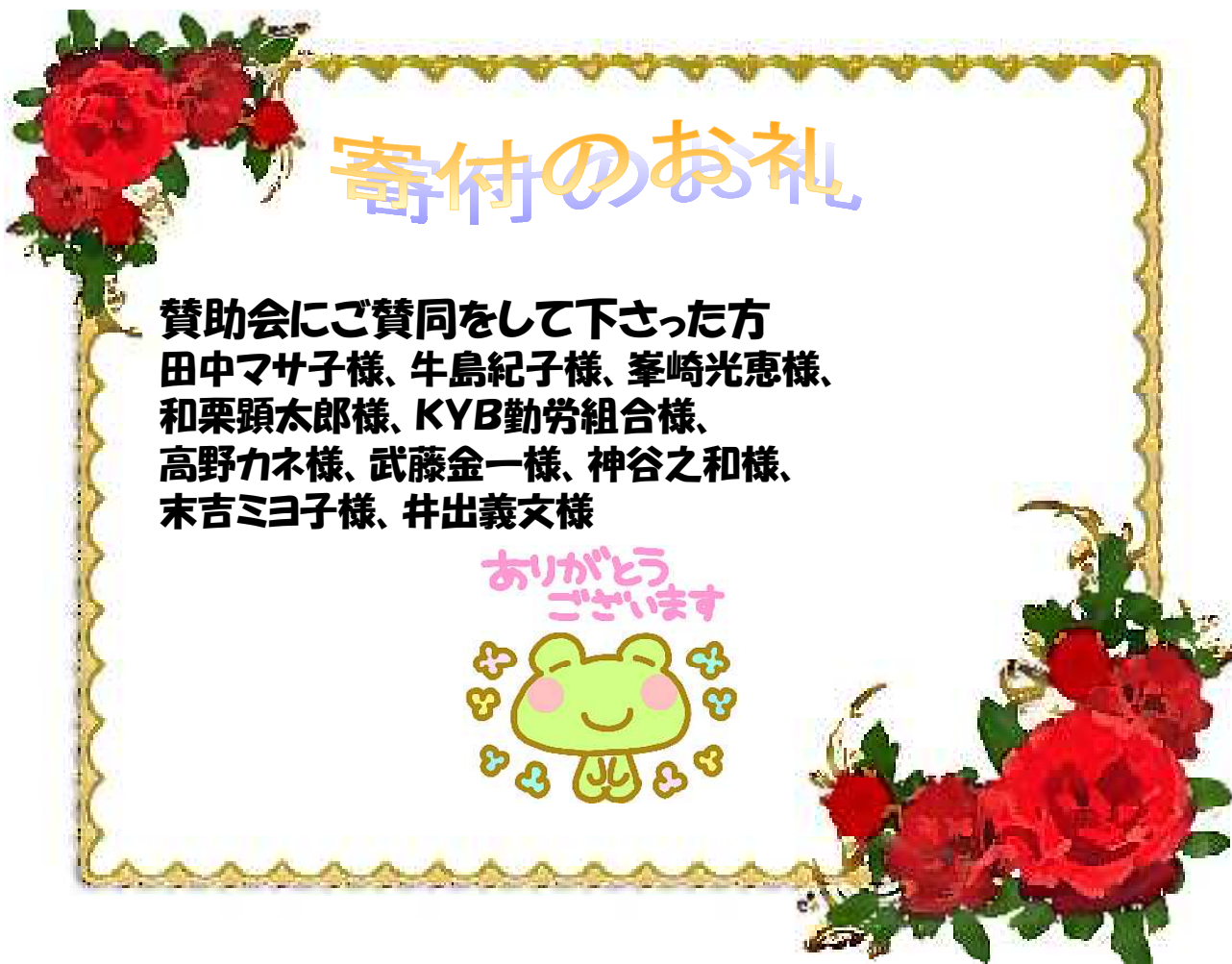
12月20日(日)ライオンスクラブのクリスマス会が行われ、希望者が参加しました。

12月に入り、風の子会の内部の人達が風邪や体調不慮で休みが多く感じます。皆さんも体調管理には、充分お気をつけになって下さいね!!

幸 高史

僕と彼女と時々僕の家族
そして、二人でよく行ったデ
ートで、東京デイスニーランド
が忘れられません。1982
年僕たちが小学校一年生のこ
ろ、東京デイスニーランドがオ
ープンしました。二人ともディ
スニー好きで、とくに、僕が大
好きで一年に数回遊びに行き
ました。とても楽しい思い出
です。「カリブの海賊」や「イッ
ツァ・スモールワールド」など
のアトラクションによく載って
遊んでいました。最初はお互
いの家族が集まって遊びに行
きました。そのうち二人でも
行かれるようになり、それも
良い思い出になっています。

SATOSHI・TANAKA



謝罪と訂正文

10月号の連載記事『昭和～平成』において記入漏れがありました。1968年当時、300奪三振を達成した投手は、元近鉄バッファローズ＝（現オリックスバッファローズ）に在籍していた鈴木啓示投手でした。というの所を書き忘れていました。申し訳ございませんでした。なので連載中止とさせていただきます。改めて自分で読み返しますと全くもって連載らしかならぬものでした。この様なものを一年にわたり書いていたと思うとお恥ずかしいかぎりです。皆さんに読んで頂いてたことに深く感謝いたします。一年間御愛読頂きましてありがとうございました。

三木 直人



風の子便り連載

岡本 明

バリアフリーよもやま話 第46回 「港区七福神巡り」

明けましておめでとうございます。今回は新年に相応しく、七福神のお話です。七福神は福をもたらすとされている七体の神様ですが、実は七体の神様はすべて障害があった、とも言われています。恵比寿様は脳性まひだったのではないかと、ほかの6体の神様も、水頭症、自閉症、知的障害、ダウン症候群などの障害があるのではないかとこののです。以前この連載第17回「ふびす様」でも書きましたが、障害のある子どもが生まれた場合、「この子は七福神の〇〇様に似ている、だから大切にしよう」と考えてほしい、と願って七福神はあのような姿しておられるのかもしれない。また、ちょっと意外なことです、七福神のうち日本出身の神様は恵比寿様だけで、ほかはインド、中国出身のインターナショナル集団だそう。七福神は遠く室町時代頃に信仰が始まったとされ、お参りをすると七つの災難が除かれ、七つの幸福が授かるということで、日本各地に七福神巡りがあります。



港区にも七福神巡りがあり、8つのお寺、神社を巡るようになってきました。「あれ、七福神なのに8か所なの？」と思われるでしょうが、七福神すべてが乗っためでたい「宝船」が加わって8つなのです（これは珍しいそうです）。七福神巡りの順番はどこから始めてもいいそうですが、レディースファーストで弁天様から始めてみましょう。

■弁財天【宝珠院】芝公園4丁目：増上寺の裏あたりの、浄土宗のお寺にあります。七福神中の紅一点で、もとはインドの水の神様です。日本では芸能の神、財宝を授けてくださる神とされています。

■恵比寿【熊野神社】麻布台2丁目：赤羽橋から飯倉へ向かう坂の途中にある神社です。鯛と釣竿を持ち、豊漁の神です。イザナミノミコトとイザナギノミコトの間に生まれたのですが、どうやら脳性まひだったようです。歩かないので葦の船で海に流されてしまったのですが、漁師が助け、神様として敬ったと言われます。熊野神社ではお正月にはお神酒がふるまわれます。

■布袋尊【久国神社】六本木2丁目：熊野神社から行合坂、飯倉を越えて、サントリーホール付近にあります。中国の唐の時代のお坊さんで、七福神ではただ一人の存在した方だそうです。持っている大きな布袋に宝物を入れ、頼ってくる人があると、その袋を取り出して与えたといわれています。

■福祿寿【天祖神社】六本木7丁目：東京ミッドタウンの近くです。中国の道教の神様で、長い大きな頭で、杖をついた千歳の老神です。福祿寿とは幸福の福、財・富を表す祿、健康・長寿の寿のことです。

■壽老神【櫻田神社】西麻布3丁目：六本木ヒルズの近くです。中国の神様で、にこやかな微笑みをたたえ、福祿寿と共に南極星の化身といわれ、健康・長寿の神です。

■毘沙門天【氷川神社】元麻布1丁目：仙台坂上から麻布十番へ向かう大黒坂の途中にあります。インドの神様で、武将の姿をし、右手に宝棒、左手に宝塔、邪鬼を踏みつけています。

■大黒天【大法寺】元麻布1丁目：これも大黒坂にあります。インドの神様でしたが、中世以降、大国主命と一体にされて広く信仰され、福德の神とされています。また厨房の神様としても知られます。大法寺ではお正月には甘酒がふるまわれます。

■宝船【十番稲荷神社】麻布十番1丁目：都営大江戸線「麻布十番」駅7番出口のすぐそばの、七福神が乗った宝船の石像が置かれた神社です。鳥居の左側に宝船、右側にはガマ親子の石像があります。

全部で7kmほどのコースになります。まだ巡ってない方はぜひ、とお勧めしたいのですが、残念ながら多くのところが階段の上にあたり、でこぼこの石畳だったりして、バリアフリーになっていません。古いお寺、神社なので改造はなかなか難しいのですが、少しずつでも進めてほしいものです。

2016 年間スケジュール

1月	
2月	13日（土） 料理教室(すき焼き・餃子・三色丼)
3月	
4月	13日（水） イチゴ狩り
5月	22日（日） 障害者は外に出よう（代休有り）
6月	18日（土） 総会
7月	9日（土） 歌と踊りの集い
8月	6日（土） 暑気払い 11日（木）～15日（月） 夏休み 24日（水） プール 下旬 健康診断
9月	上旬 健康診断 3日（土）～4日（日） 一泊旅行（代休有り）
10月	8日（土）～9日（日） 区民まつり（代休有り） 22日（金）～23日（土） きょうされん大会（熊本） 下旬 ヒューマンぷらごまつり（代休有り） 中旬 インフルエンザ予防接種
11月	上旬 インフルエンザ予防接種
12月	10日（土） クリスマス会 29日（木） 冬休み
2017年1月	3日（火） 冬休み 14日（土） 初詣

2月27日
クラブ活動

2月17日
運営委員会

すきやきだよ～！



2月13日
料理教室

近場の
スケジュール

今私は小説で「虐殺器官」という本を読んでいます。この話は5部構成の話になっている隊員の話です。主人公の名はクラヴィズ・シェパードという名です。登場人物はこの5章によって登場人物が違います1章目は母と子『クラヴィズ・シェパード』の入隊から准将暗殺まで、それで私の1章目の感想は自分の母を大事にしようと思いました。2章目はルツァアという人物が出てきますこの時シェパードは学者に化けてルツァアに近づき、ルツァアは言語学者でした。ルツァアが言うには「戦争を起こす前人には行動学が見受けられる」と言っており3章目ではシェパードがルツァアの行きつけのバーに連れられてそこにはバーの店長らしき人物とがたいのいい人物が1名居ました。その人たちはどうやら宗教にぞくさい団体で言語の事を研究しています。感想 さてそもそもなぜ戦争という物が生まれるか、言葉という物は私たちにとってプラスにも働くがマイナスにも働くその結果どうしようも無くなった状態を私は戦争に突入した状態を戦争だと私は思います。ではなぜ戦争起きるのでしょう。私一、個人の意見としては最初は人間同士個人個人で意見合わず対立していたがやがて規模が大きくなり、意見の不一致が起こりそれを今度は総括（まとめる）人が出てきた。それが私達の住んでいる日本の首相だが今の日本首相は頼りが無い気がする。

塚田 愛基

編集後記

我々風の子会が活動している「カナルサイド高浜荘」が5年後に立て壊しになり、3年以内に移転しなければならなかった。その移転場所を港区役所の障害者福祉課に意見書を出したりしているところ、まだ場所を決定していない。なるべく早く移転場所を確保して欲しい。そうしないと当会は解散してしまう。私は高校卒業後、当会に入会して今年で38年目になる。移転場所も見つからずそのまま解散になったら非常に困る！

幸 高史



私は障害者です。今年で36歳になりました。太陽にほえるが大好きです。今年で36歳になりました。太陽にほえるが大好きです。今年で36歳になりました。太陽にほえるが大好きです。

柳川 敬事

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

企画編集メンバー

幸三塚田小太
木田中野田
高直愛 圭
史人基聡航子

和柳松田佐太
栗川本村久田
頭 間
太敬恵亮
郎事司彦庸稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>
ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

